

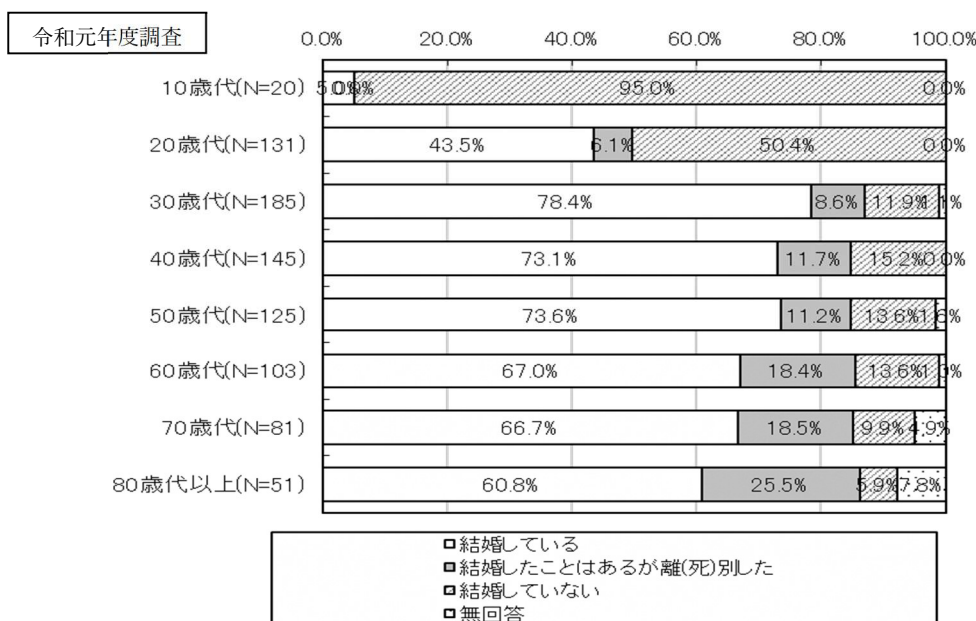
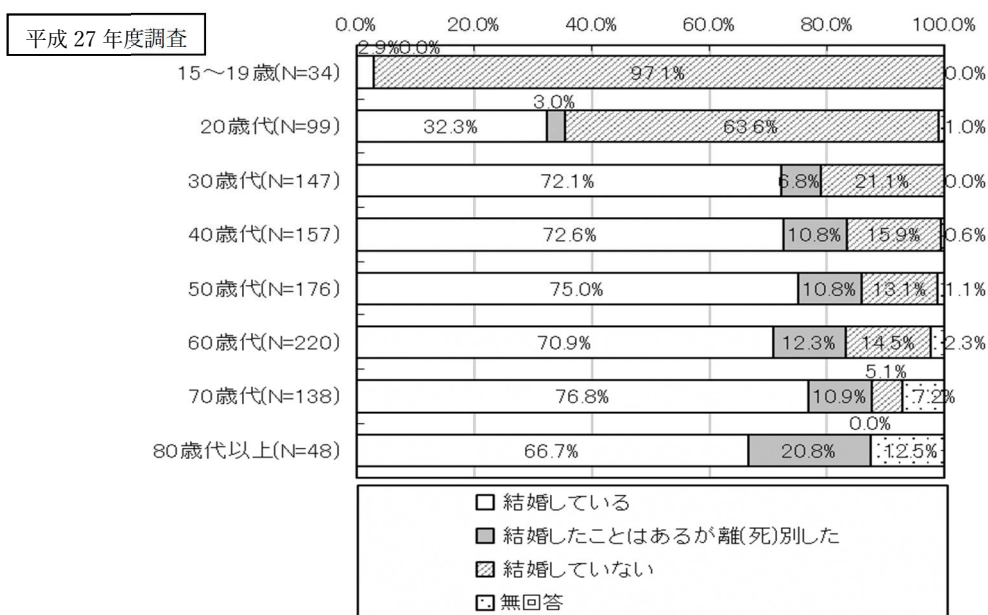
アンケート報告書の抜粋

【結婚について】

問 13 結婚の状況について、あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

- 1. 結婚している ⇒問 14 へ進んでください
- 2. 結婚したことはあるが離(死)別した ⇒問 13-1、問 13-2 へ進んでください
- 3. 結婚していない ⇒問 13-1、問 13-2 へ進んでください

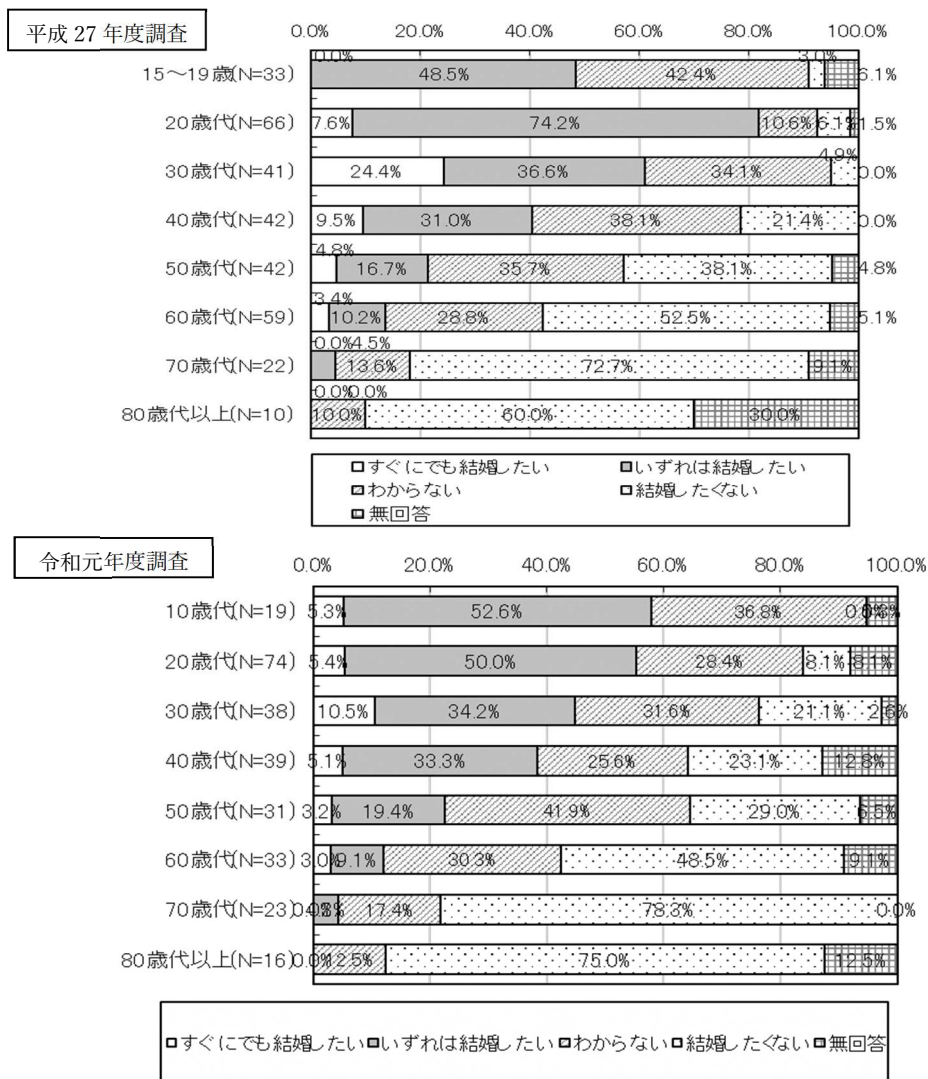
・ 前回の結果と比較すると、10 歳代～30 歳代の年代では結婚している人の割合が増加していることが分かります。一方で、結婚したことはあるが離(死)別した人の割合は 10 歳代を除き、すべての年代で増加しています。



問 13-1 問 13 で「2. 結婚したことはあるが離（死）別した」または「3. 結婚していない」と回答した方のみ、お答えください。今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号 1 つに○を付けてください。

1. すぐにでも結婚したい
2. いずれは結婚したい
3. わからない
4. 結婚したくない

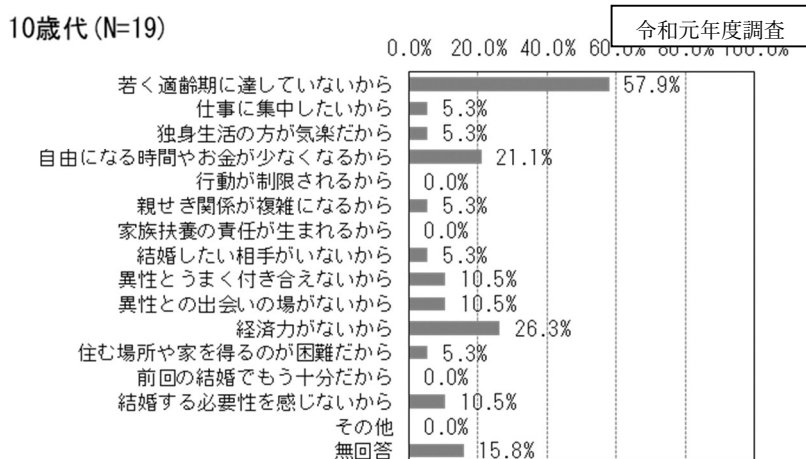
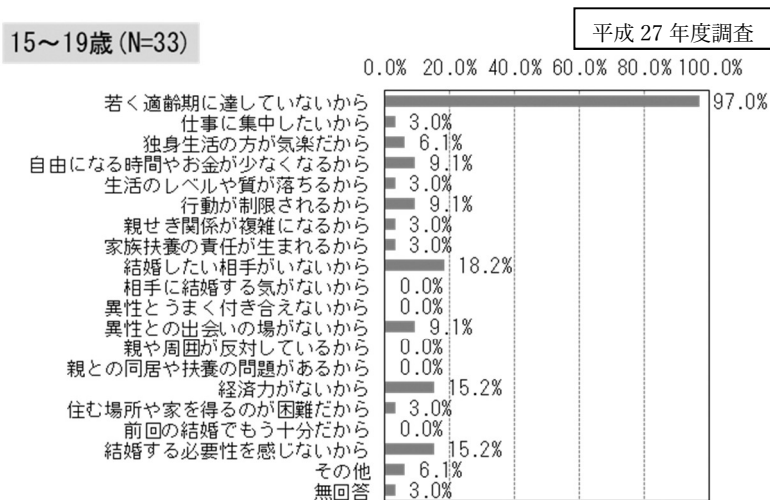
・ 前回の結果と比較すると、20 歳代、30 歳代の結婚したい人の割合が大幅に減少していることが分かります。前回の調査では、20 歳代の「いずれは結婚したい」という回答が 74.2%であったのに対し、今回の結果では 50.0%に減少しています。また、30 歳代の「すぐにでも結婚したい」という回答も前回の 24.4%に対し、今回の結果では 10.5%にとどまっております。30 歳代は「結婚したくない」という回答が 4.9%から 21.1%に増加しています。一方で、10 歳代の「すぐに結婚したい」、「いずれは結婚したい」という回答は 48.5%から 57.9%へ増加しており、若者世代の中でも結婚に対する考え方が多様であると分かります。



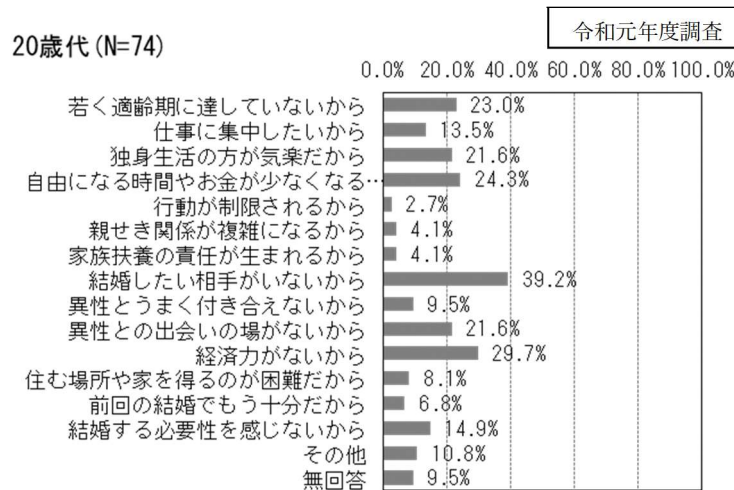
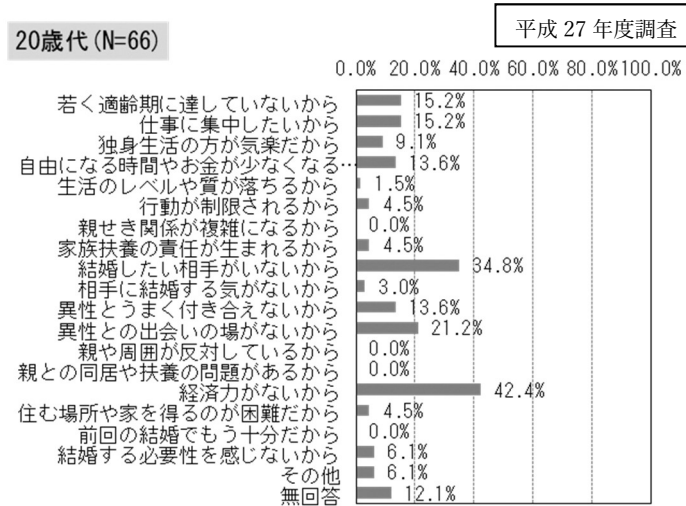
問13-2 問13で「2. 結婚したことはあるが離(死)別した」または「3. 結婚していない」と回答した方のみ、お答えください。結婚していない、あるいは結婚したくない理由について、あてはまる番号3つまでに○を付けてください。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 若く適齢期に達していないから | 2. 仕事に集中したいから         |
| 3. 独身生活の方が気楽だから   | 4. 自由になる時間やお金が少なくなるから |
| 5. 行動が制限されるから     | 6. 親せき関係が複雑になるから      |
| 7. 家族扶養の責任が生まれるから | 8. 結婚したい相手がいないから      |
| 9. 異性とうまく付き合えないから | 10. 異性との出会いの場がないから    |
| 11. 経済力がないから      | 12. 住む場所や家を得るのが困難だから  |
| 13. 前回の結婚でもう十分だから | 14. 結婚する必要性を感じないから    |
| 15. その他( )        |                       |

10歳代では特に「自由になる時間やお金が少なくなるから」という回答が9.1%から21.1%に増加し、「経済力がないから」という回答が15.2%から26.3%に増加するなど、経済的な理由によって結婚へ消極的な意向となっていることがうかがえます。一方で、「若く適齢期に達していないから」という回答は97%から57.9%へ減少しており、年齢を要因とした結婚に対する抵抗は弱化していることが分かります。



- 20歳代でも「自由になる時間やお金が少なくなるから」という回答は13.6%から24.3%に増加しています。一方で、「経済力がないから」という回答は42.4%から29.7%へと減少しており、「独身生活の方が気楽だから」という回答が9.1%から21.6%へと増加しています。



【出産・子育てについて】

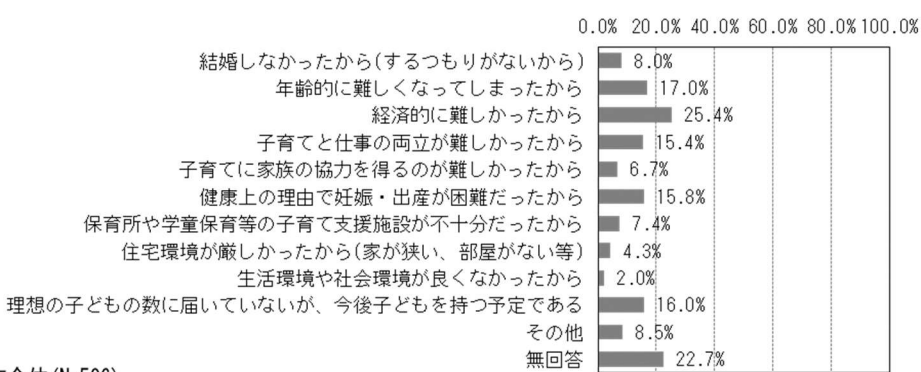
問 18 問 17 の【理想の子どもの数】よりも問 16 の【現状の子どもの数】が少ない方にお聞きします。  
 少なかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 結婚しなかったから(するつもりがないから)
2. 年齢的に難しくなってしまったから
3. 経済的に難しかったから
4. 子育てと仕事の両立が難しかったから
5. 子育てに家族の協力を得るのが難しかったから
6. 健康上の理由で妊娠・出産が困難だったから
7. 保育所や学童保育等の子育て支援施設が不十分だったから
8. 住宅環境が厳しかったから(家が狭い、部屋がない等)
9. 生活環境や社会環境が良くなかったから
10. 理想の子どもの数に届いていないが、今後子どもを持つ予定である
11. その他( )

【理想の子どもの数】よりも問 16 の【現状の子どもの数】が少ない人の理由について、前回の調査では 25.4%と一番割合が大きかった「経済的に難しかったから」という回答は、今回の調査では 15.1%に減少しています。一方、「健康上の理由で妊娠・出産が困難だったから」という理由が 15.8%から 18.9%へ増加しています。また、「理想の子どもの数に届いていないが、今後子どもを持つ予定である」と回答した割合は 16.0%から 1.9%へと大幅に減少しており、理想の数ほど多くの子どもをもつことに対しては後ろ向きであるという傾向が強くなっていると言えます。

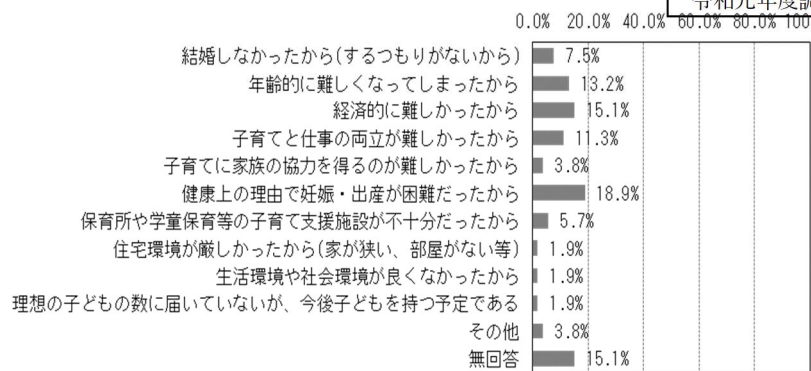
①市全体 (N=564)

平成 27 年度調査



①市全体 (N=506)

令和元年度調査



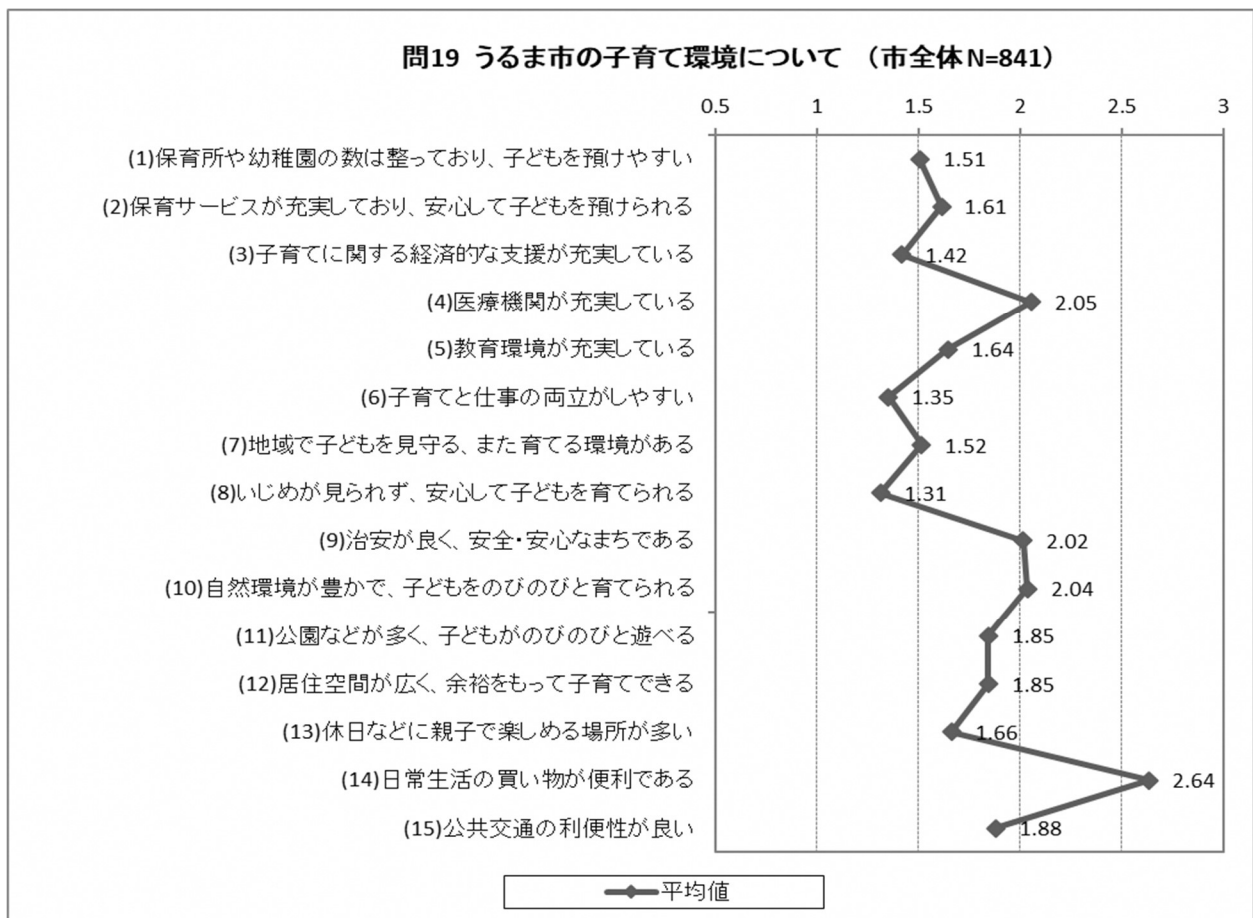
問 19 うるま市の子育て環境についてお聞きします。次の(1)～(15)の項目ごとに、あなたがどのように思うか、あてはまる番号1つに○を付けてください。

※ 加重平均値による分析

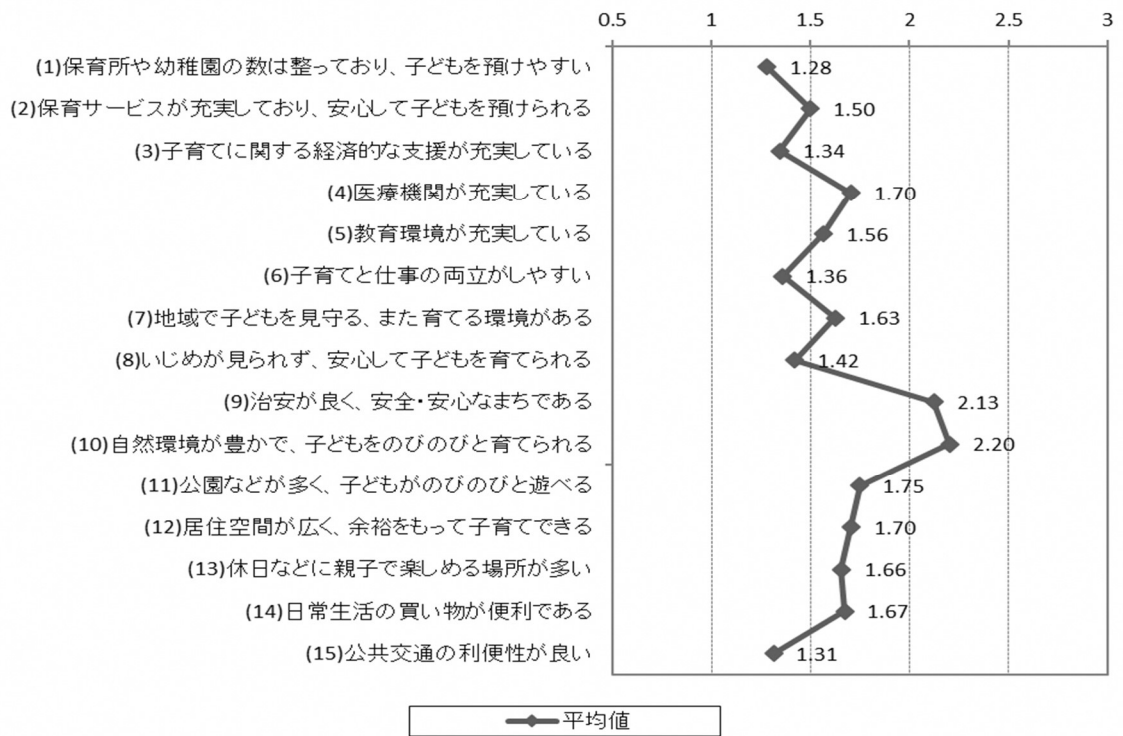
(1) から (15) までの回答結果を、右のように選択肢に加点(1～4点)し、それぞれの項目ごとのポイント(加重平均値)を算出しました。

選択肢	加点
そう思う	+ 4
どちらかといえばそう思う	+ 3
どちらかといえばそう思わない	+ 2
そう思わない	+ 1
わからない・無回答	0

- 市全体の結果を見ると、「日常生活の買い物が便利である」(2.64点)のポイントが最も高く、次いで「医療機関が充実している」(2.05点)となります。利便性や医療機関の整備に対する満足度が高いことが分かります。一方で「いじめが見られず、安心して子どもを預けられる」(1.31点)や「子育てと仕事の両立がしやすい」(1.35点)は今後改善すべき課題であると言えます。
- 島しょ地域の結果としては、ポイントが高かった回答として、「自然環境が豊かで、子どもをのびのびと育てられる」(2.20点)や「治安が良く、安心安全のまちである」(2.13点)が挙げられます。一方で「保育所や幼稚園の数は整っており、子どもを預けやすい」(1.28点)や「公共交通の利便性が良い」(1.31点)など、設備や利便性に関する回答のポイントが低い結果となっています。



問19 うるま市の子育て環境について（島しょ地域 N=64）



問 20 希望通りに子どもを持てるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。最も必要と思われるもの5つまでを選び番号に○を付けてください。

1. 子育てに関する相談窓口の充実
2. 子育てに伴う家計の負担軽減、経済的支援の充実
3. 延長保育の拡充など保育サービスの充実
4. 学童保育サービスの充実
5. 子どもが病気やケガをした時に預けられる病児・病後児保育施設の充実
6. 育児休業制度、短時間勤務制度の普及
7. 男女ともに長時間労働をなくす意識の啓発
8. 職場内保育所の整備促進
9. 技能訓練など就労支援の充実
10. 再雇用制度の充実など、柔軟な働き方の普及
11. 育児・家事に関する家族等の協力
12. 地域や社会全体での子育ての応援体制の充実
13. 不妊治療・不育治療への助成制度の充実
14. 出産費用の負担軽減措置の充実
15. 子育て世帯への住宅のあっせんや住居費の助成制度の充実
16. その他( )

- ・ 希望通りに子どもを持つことができるために必要なこととして、前回の調査結果と同様に、「経済的支援の充実」が最も多い回答となっています。前回調査と比較して大幅に回答の割合が増えた選択肢として、「育児・家事に関する家族等の協力」(15.4%から 22.1%へ増加)、「不妊治療・不育治療への助成制度の充実」(13.3%から 18.5%へ増加)が挙げられます。問 18 で理想の子どもの数に届かなかった理由として健康上の理由が多かったことから、不妊治療・不育治療への取り組みが求められていることがうかがえます。



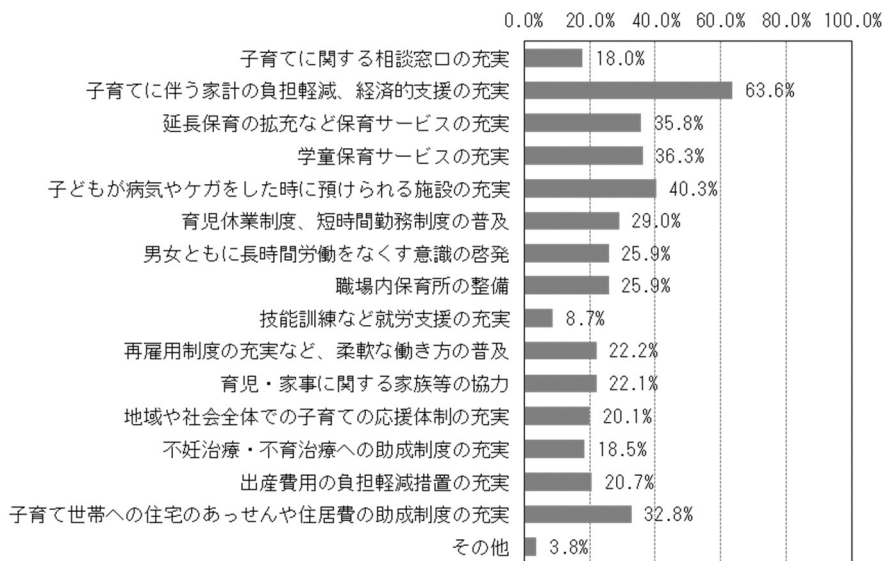
①市全体 (N=1032)

平成 27 年度調査



①市全体 (N=841)

令和元年度調査



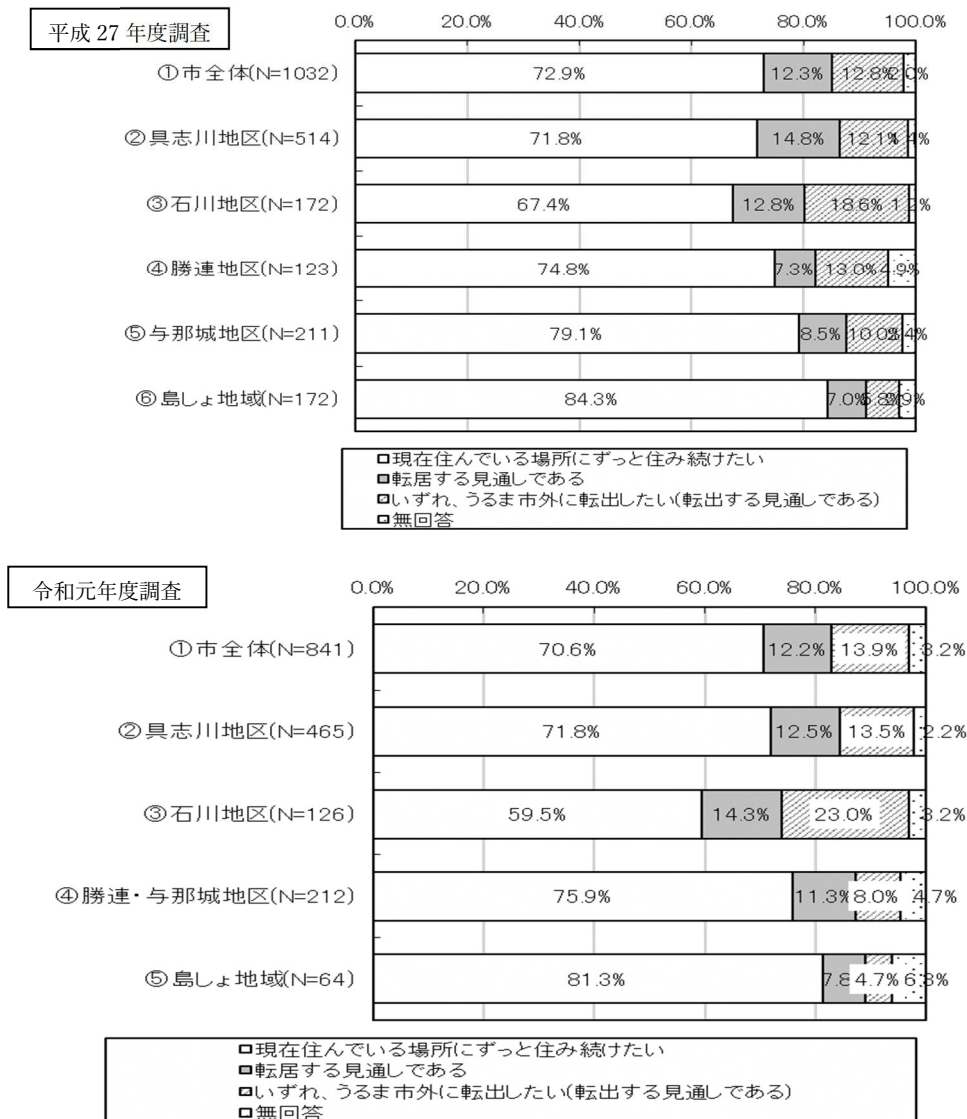
【移住定住について】

問 21 あなたは今後もうるま市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに○を付けてください。

1. 現在住んでいる場所にずっと住み続けたい ⇒問 21-1 へお進みください
2. 転居する見通しである ⇒問 21-1、問 21-2 へお進みください
3. いずれ、うるま市外に転出したい(転出する見通しである) ⇒問 21-2、問 21-3 へお進みください

注)「転居」とは市内の移動を言い、「転出」は市外・県外等への移動を言うものとします。

- ・ 現在住んでいる場所にずっと住み続けたい人の割合は、市全体を見ると前回調査よりも2.3ポイント減少し、70.6%となっています。石川地区の減少が大きく、67.4%から59.5%へと減少しています。島しょ地域も3ポイント程度の減少となっています。



(中学生向けアンケート)

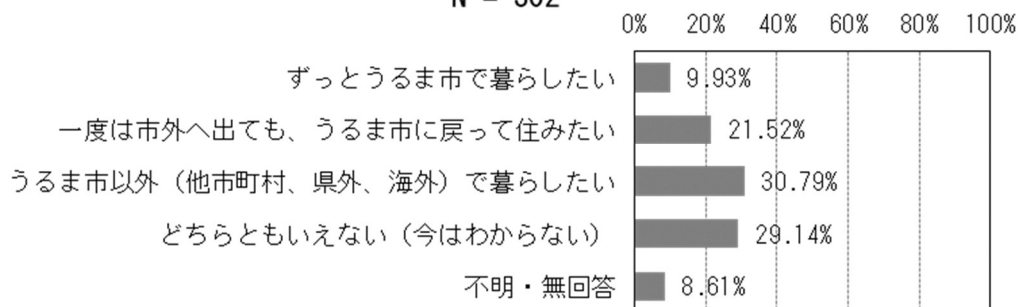
問6 あなたは、これからもうるま市に住み続けたいと思いますか。【1つだけ選択】

1. ずっとうるま市で暮らしたい ⇒問8へ
2. 一度は市外へ出て、うるま市に戻って住みたい ⇒問7へ
3. うるま市以外（他市町村、県外、海外）で暮らしたい ⇒問7へ
4. どちらともいえない（今はわからない） ⇒問8へ

- ・ 中学生向けのアンケート結果では、「ずっとうるま市で暮らしたい」という回答は9.93%にとどまりました。「うるま市以外（他市町村、県外、海外）で暮らしたい」という回答は30.79%にのぼり、市外への転出希望が多いことがうかがえます。しかし、一度は市外へ出て、「うるま市に戻って住みたい」という回答も21.52%という結果になりました。

問6 これからもうるま市に住み続けたいと思うか

N = 302



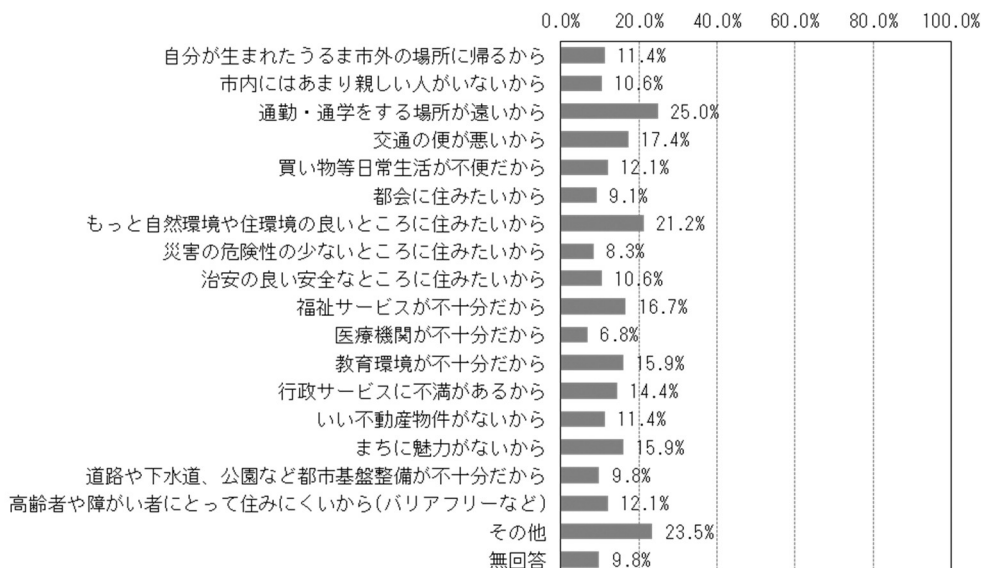
問 21-3 問 21 で「3. いずれ、うるま市外に転出したい（転出する見通しである）」と回答した方のみ、お答えください。うるま市外へ転出したいと思う理由について、あてはまる番号すべてに○を付けてください。

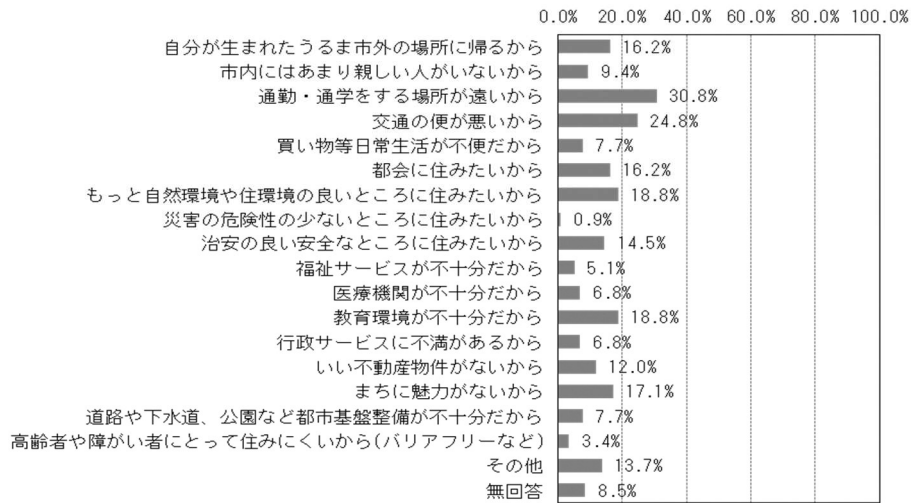
- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 自分が生まれたうるま市外の場所に帰るから           |                    |
| 2. 市内にはあまり親しい人がいないから              | 3. 通勤・通学をする場所が遠いから |
| 4. 交通の便が悪いから                      | 5. 買い物等日常生活が不便だから  |
| 6. 都会に住みたいから                      |                    |
| 7. もっと自然環境や住環境の良いところに住みたいから       |                    |
| 8. 災害の危険性の少ないところに住みたいから           |                    |
| 9. 治安の良い安全なところに住みたいから             |                    |
| 10. 福祉サービスが不十分だから                 | 11. 医療機関が不十分だから    |
| 12. 教育環境が不十分だから                   | 13. 行政サービスに不満があるから |
| 14. いい住宅・賃貸物件がないから                | 15. まちに魅力がないから     |
| 16. 道路や下水道、公園など都市基盤整備が不十分だから      |                    |
| 17. 高齢者や障がい者にとって住みにくいから(バリアフリーなど) |                    |
| 18. その他( )                        |                    |

うるま市外へ転出したい理由として、市全体の結果では、前回調査同様に「通勤・通学をする場所が遠いから」が最も多く、30.8%となっています。また「交通の便が悪いから」という回答が17.4%から24.8%へと増加しました。

①市全体(N=132)

平成 27 年度調査





(中学生向けアンケート)

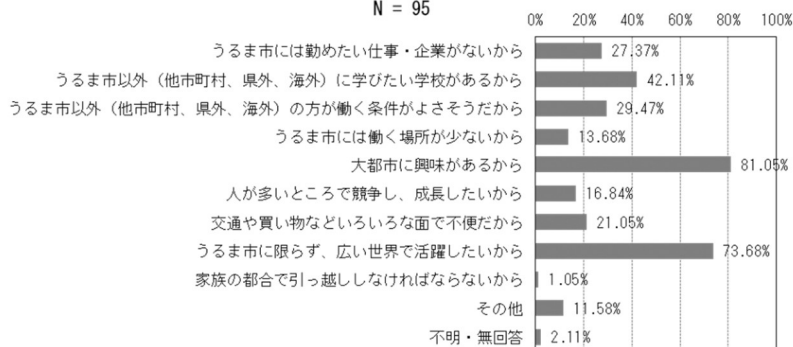
問7 問6で「2」「3」と回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。【2つだけ選択】

1. うるま市には勤めたい仕事・企業がないから
2. うるま市以外に学びたい学校があるから
3. うるま市以外（他市町村、県外、海外）の方が働く条件がよさそうだから
4. うるま市には働く場所が少ないから
5. 大都市に興味があるから
6. 人が多いところで競争し、成長したいから
7. 交通や買い物などいろいろな面で不便だから
8. うるま市にとらわれず、広い世界で活躍したいから
9. 家族の都合で
10. その他（ ）

市外へ出たいと回答した中学生の理由として、「大都市に興味があるから」という回答が最も多く、81.05%でした。次いで「うるま市に限らず、広い世界で活躍したいから」という回答が73.68%でした。自由記述の中でも、「高いビルに住みたいから」「他の地域の文化を見て見たい」「世界に羽ばたきたいから」といった都市への興味や自身の将来への希望に関する記述がみられました。

問7 【問6で「ずっとうるま市で暮らしたい」「一度は市外へ出ても、うるま市に戻って住みたい」と回答された方】その理由は何か

N = 95



問 22 島しょ地域（津堅島、浜比嘉島、平安座島、宮城島、伊計島）にお住まいの方、かつて住まわれていた方、新たに住みたいと思う方についてお尋ねします。島しょ地域の活性化や定住者や移住者を増やすために必要なことは何だと思われますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

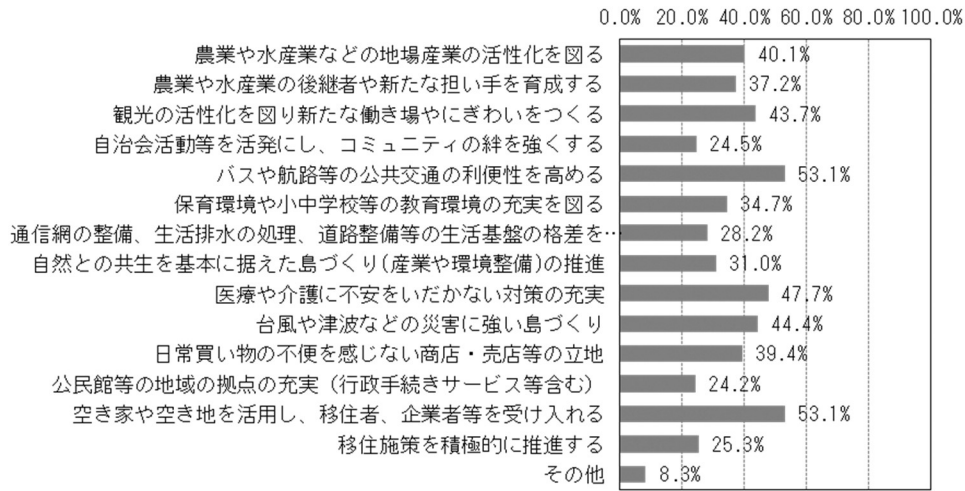
1. 農業や水産業などの地場産業の活性化を図る
2. 農業や水産業の後継者や新たな担い手を育成する
3. 観光の活性化を図り新たな働き場やにぎわいをつくる
4. 自治会活動等を活発にし、コミュニティの絆を強くする
5. バスや航路等の公共交通の利便性を高める
6. 保育環境や小中学校等の教育環境の充実を図る
7. インターネットを活用した特色ある教育を推進する
8. 生活排水の処理、道路整備等の生活基盤の格差を是正する
9. 自然との共生を基本に据えた島づくり(産業や環境整備)の推進
10. 医療や介護に不安をいだかない対策の充実
11. 台風や津波などの災害に強い島づくり
12. 日常買い物の不便を感じない商店・売店等の立地
13. 公民館等の地域の拠点の充実（行政手続きサービス等含む）
14. 空き家や空き地を活用し、移住者、企業者等を受け入れる
15. コワーキングスペース（※）の創設により、企業を誘致する
16. 移住施策を積極的に推進する
17. 出会いの場をつくることにより、結婚や出産の機会を増やす
18. その他( )

※コワーキングスペースとは、異なる組織や業種の人々が交流しながら仕事や学ぶことができる、共同利用型の事務所、打合せや会議を行う場所のことを指します。

島しょ地域の活性化や定住者や移住者を増やすために必要なこととして、前回同様に「バスや航路等の公共交通の利便性を高める」という回答が最も多く、58.3%となっています。「日常買い物の不便を感じない商店・売店等の立地」は前回の39.4%から50.4%へと増加しています。今回調査で新たに追加した選択肢（下線部）である「インターネットを活用した特色ある教育を推進する」「コワーキングスペースの創設により、企業を誘致する」「出会いの場をつくることにより、結婚や出産の機会を増やす」はそれぞれ17.3%、10.8%、15.8%の回答であり、それぞれに一定の需要があると見受けられます。

平成 27 年度調査

①市全体 (N=277)



令和元年度調査

①市全体 (N=139)

